

平成24年10月19日

【照会先】

広島労働局職業安定部職業対策課

課長 平岡富士男

地方労働市場情報官 福原 眞二

課長補佐 佐々木敏弘

(代表電話) 082 (502) 7832

(FAX) 082 (502) 7835

平成24年「高年齢者の雇用状況」集計結果

広島労働局では、高年齢者を65歳まで雇用するための「高年齢者雇用確保措置」の実施状況など、平成24年「高年齢者の雇用状況」（6月1日現在）の集計結果をまとめましたので、公表します。

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」では65歳までの安定した雇用の確保を図るため、企業に「定年の廃止」や「定年の引き上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置（高年齢者雇用確保措置）を講じるよう義務付け^(注)、毎年6月1日現在の高年齢者の雇用状況の報告を求めています。

今回の集計結果は、この雇用状況を報告した広島労働局管内の「常時雇用する労働者が31人以上規模」の企業3,508社の状況をまとめたものです。なお、この集計では、労働者31人～300人規模を「中小企業」、301人以上規模を「大企業」としています。

【集計結果の主なポイント】

1 高年齢者雇用確保措置の実施状況

高年齢者雇用確保措置を「実施済み」の企業の割合は96.8%（前年比0.4ポイント低下）

【別表1】

- * 中小企業は96.6%（同0.4ポイント低下）
- * 大企業は98.8%（同0.3ポイント低下）

2 希望者全員が65歳以上まで働ける企業等の状況

希望者全員が65歳以上まで働ける企業の割合は52.4%（同0.4ポイント低下）【別表5】

- * 中小企業は、55.3%（同0.6ポイント低下）
- * 大企業は、24.2%（同1.6ポイント上昇）。

70歳以上まで働ける企業の割合は19.1%（同0.3ポイント低下）【別表6】

- * 中小企業は、20.0%（同0.5ポイント低下）
- * 大企業は、11.0%（同2.5ポイント上昇）

3 定年到達者の継続雇用状況

過去1年間に定年年齢に到達した人（10,306人、31人以上規模企業）のうち、継続雇用された人は7,857人（76.2%）、継続雇用を希望しなかった人は2,304人（22.4%）、基準に該当しないこと等により離職した人は145人（1.4%）【別表7】

詳細は、次頁以下をご参照ください。

<集計対象>

31人以上規模の企業 3,508社

中小企業（31～300人規模）：3,182社

（うち31～50人規模：1,215社、51～300人規模：1,967社）

大企業（301人以上規模）：326社

（注） 高年齢者雇用確保措置の義務年齢は、年金の支給開始年齢の引き上げに合わせて段階的に引き上げられ、平成25年3月31日までは64歳、平成25年4月1日から65歳となる。

1 高年齢者雇用確保措置の実施状況

(1) 全体の状況

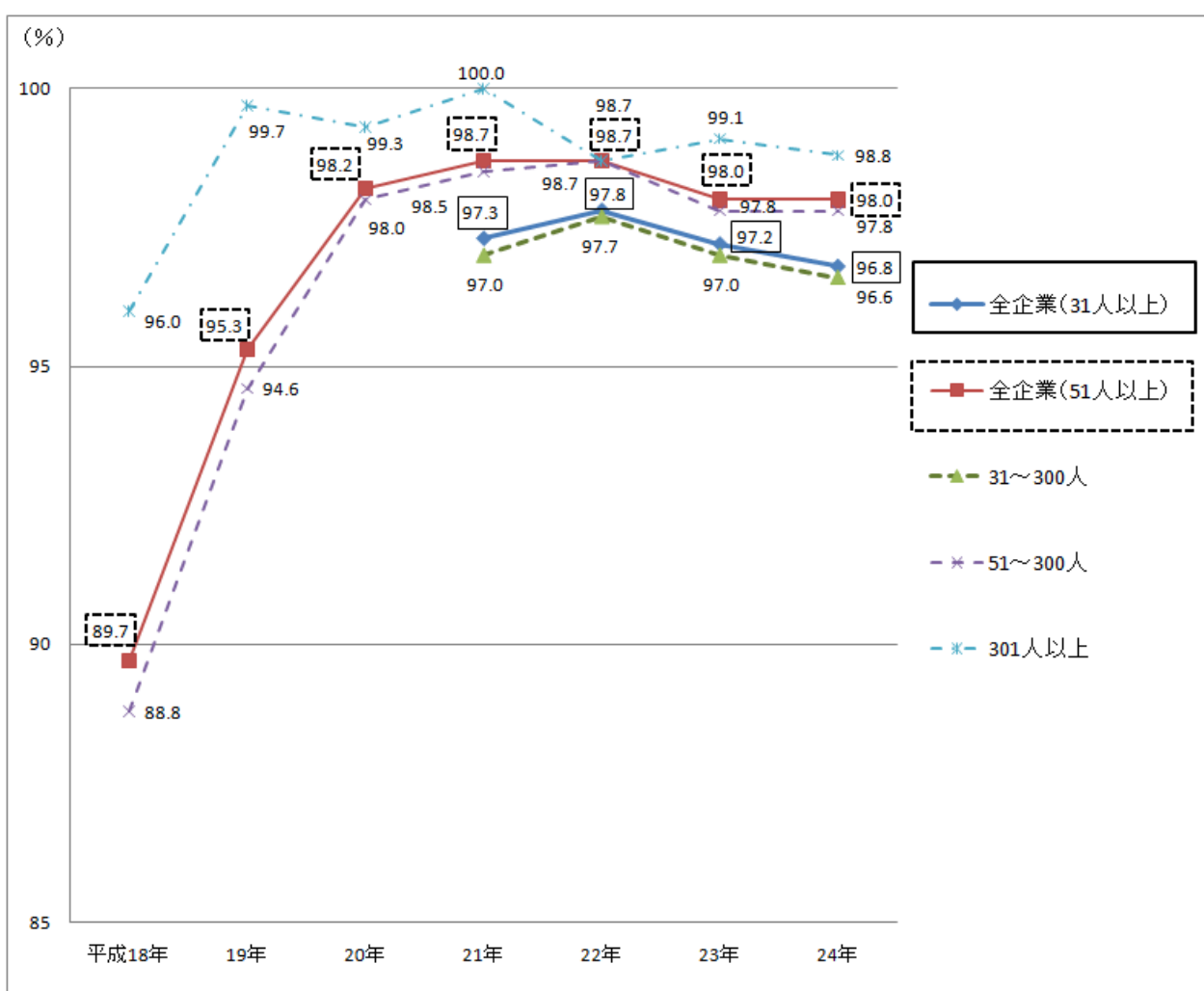
高年齢者雇用確保措置（以下「雇用確保措置」という。）の実施済企業の割合は96.8%（3,396社）（前年比0.4ポイントの低下）、51人以上規模の企業で98.0%（2,246社）（前年と同水準）となっている。

一方、雇用確保措置を未実施である企業の割合は3.2%（112社）（同0.4ポイントの上昇）、51人以上規模の企業で2.0%（47社）（前年と同水準）となっている。

【別表1】

(2) 企業規模別の状況

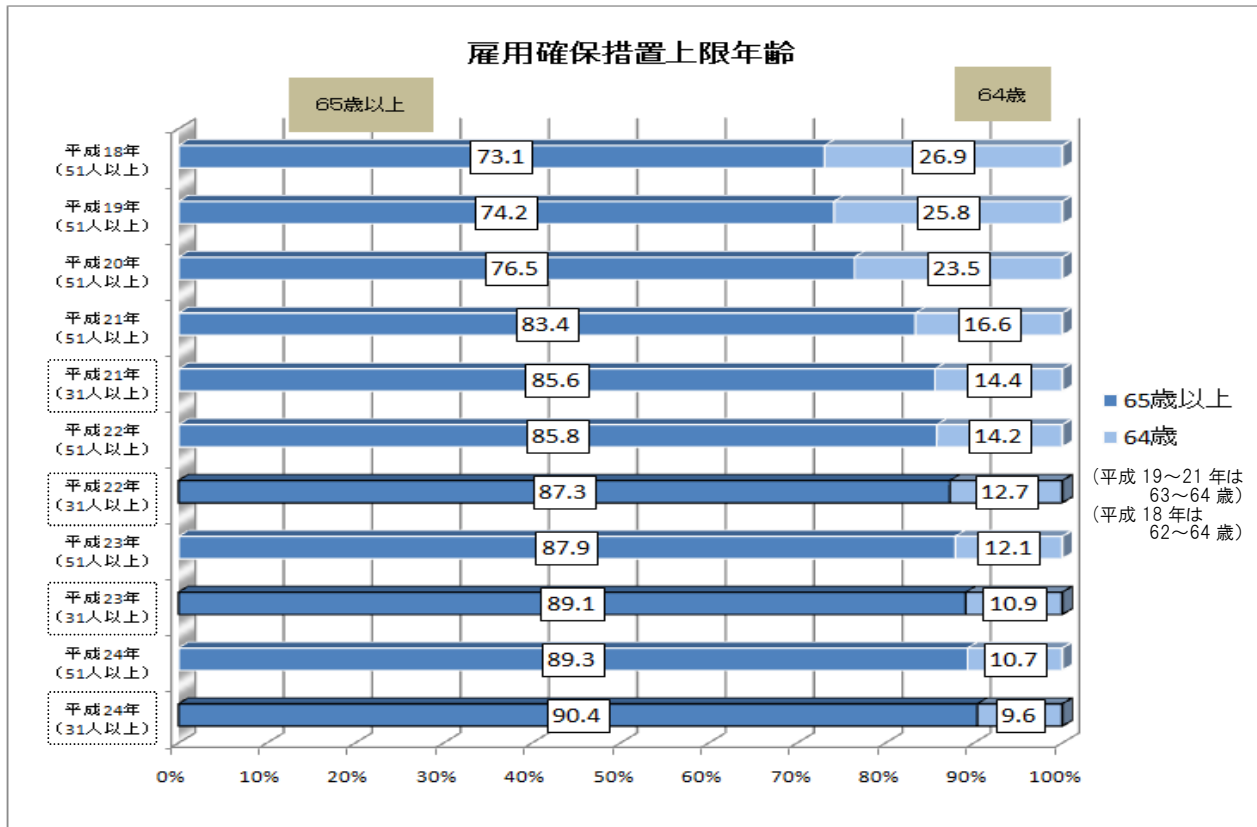
雇用確保措置の実施済企業の割合を企業規模別に見ると、大企業では98.8%（322社）（同0.3ポイントの低下）、中小企業では96.6%（3,074社）（同0.4ポイントの低下）となっている。



(3) 雇用確保措置の上限年齢

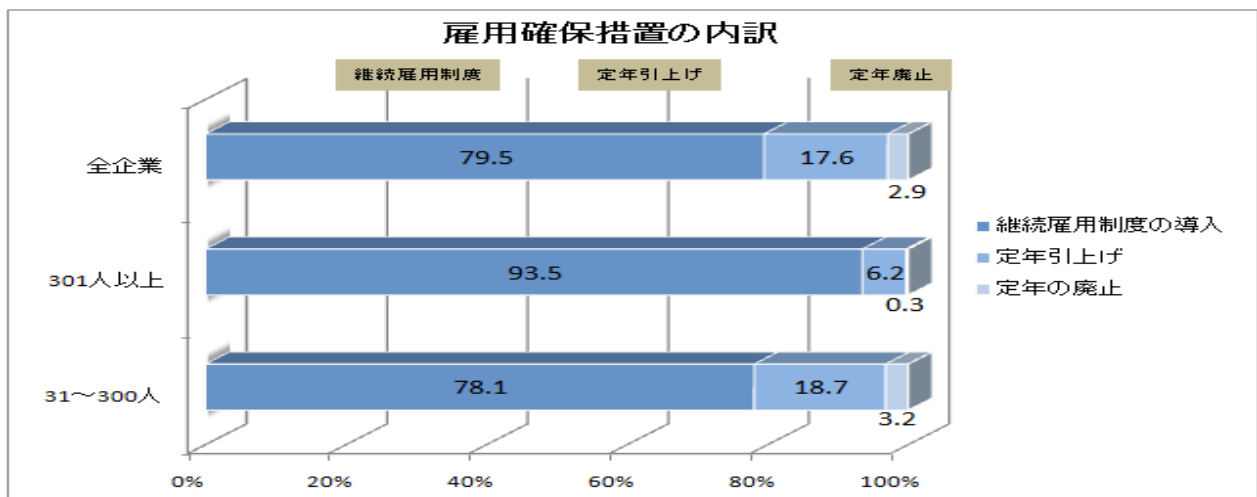
雇用確保措置の上限年齢については、雇用確保措置の実施済企業のうち、現在の義務年齢である64歳を上限年齢としている企業は9.6%（327社）となっている。

法の義務化スケジュールより前倒しして65歳以上を上限年齢としている企業（定年の定めのない企業を含む。）は90.4%（3,069社）（同1.3ポイントの上昇）となっている。【別表3】



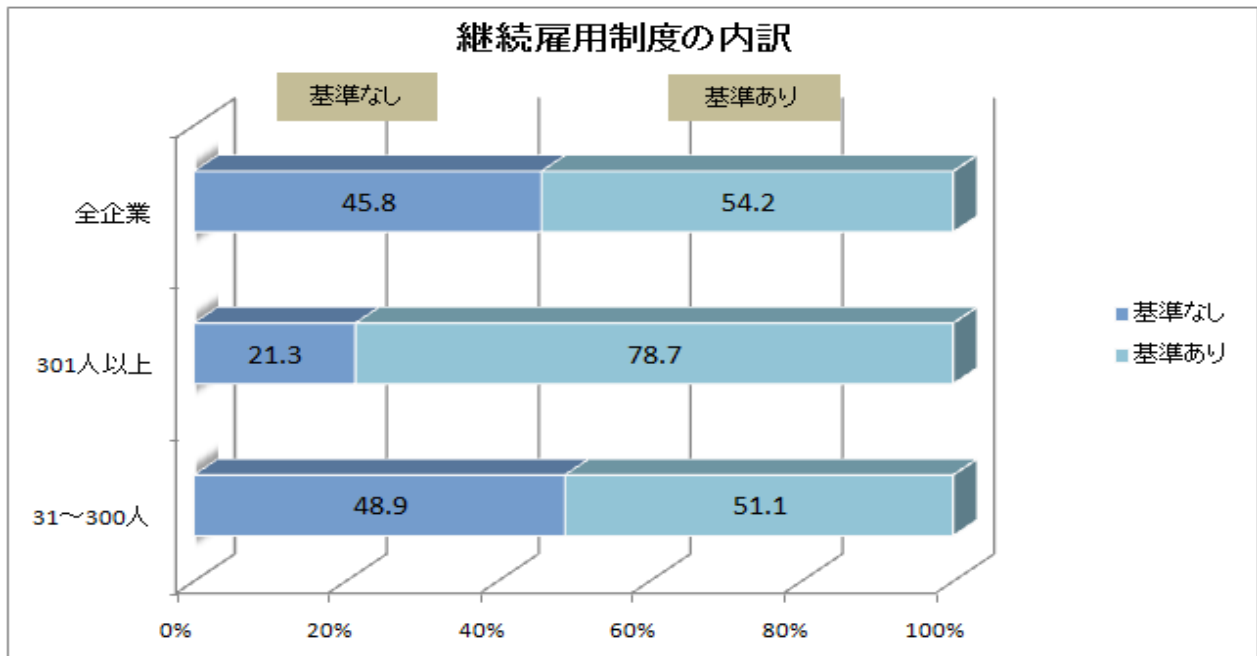
(4) 雇用確保措置の内訳

雇用確保措置の実施済企業のうち、「定年の廃止」により雇用確保措置を講じている企業は2.9%（99社）（同0.5ポイントの低下）、「定年の引上げ」により雇用確保措置を講じている企業は17.6%（596社）（前年と同水準）、「継続雇用制度の導入」により雇用確保措置を講じている企業は79.5%（2,701社）（同0.5ポイントの上昇）となっており、定年制度により雇用確保措置を講じるよりも、継続雇用制度により雇用確保措置を講じる企業の比率が高い。【別表4-1】



(5) 継続雇用制度の内訳

「継続雇用制度の導入」により雇用確保措置を講じている企業（2,701社）のうち、継続雇用制度の対象者を限定する基準を定めていない企業は45.8%（1,238社）（同0.2ポイントの低下）、継続雇用制度の対象者を限定する基準を労使協定で定めている企業は54.2%（1,463社）（同0.2ポイントの上昇）となっている。【別表4-2】

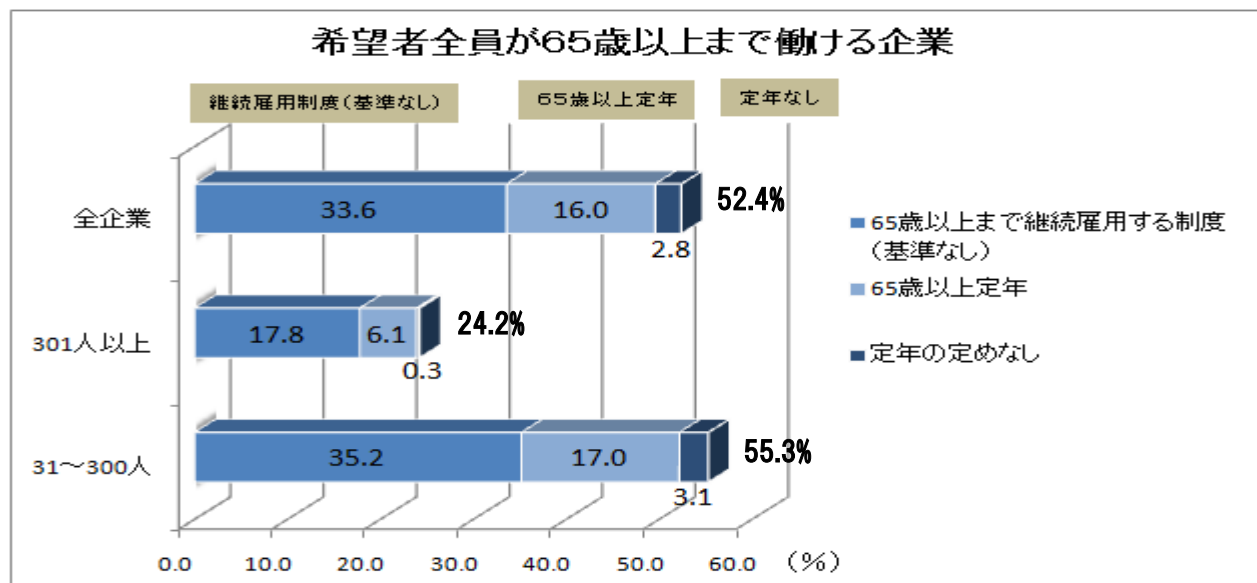


2 希望者全員が65歳以上まで働ける企業等について

(1) 「希望者全員が65歳以上まで働ける企業」の状況

希望者全員が65歳以上まで働ける企業の割合は52.4%（1,839社）（同0.4ポイントの低下）となっている。

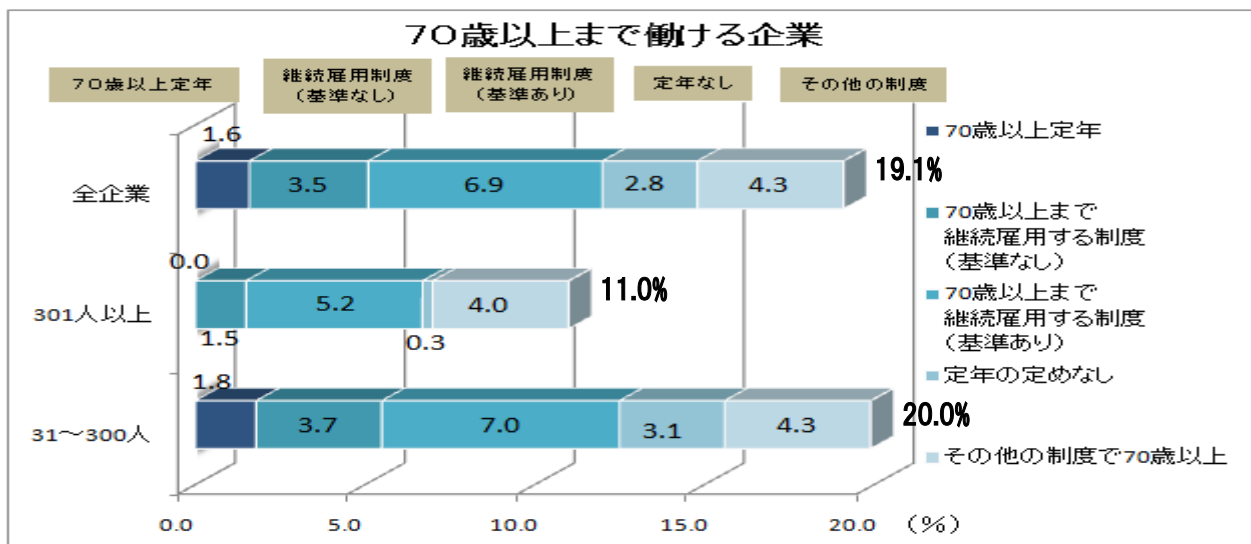
企業規模別に見ると、中小企業では55.3%（1,760社）（同0.6ポイントの低下）、大企業では24.2%（79社）（同1.6ポイントの上昇）となっている。【別表5】



(2) 「70歳以上まで働ける企業」の状況

「70歳以上まで働ける企業」の割合は、19.1%（671社）（同0.3ポイントの低下）となっている。

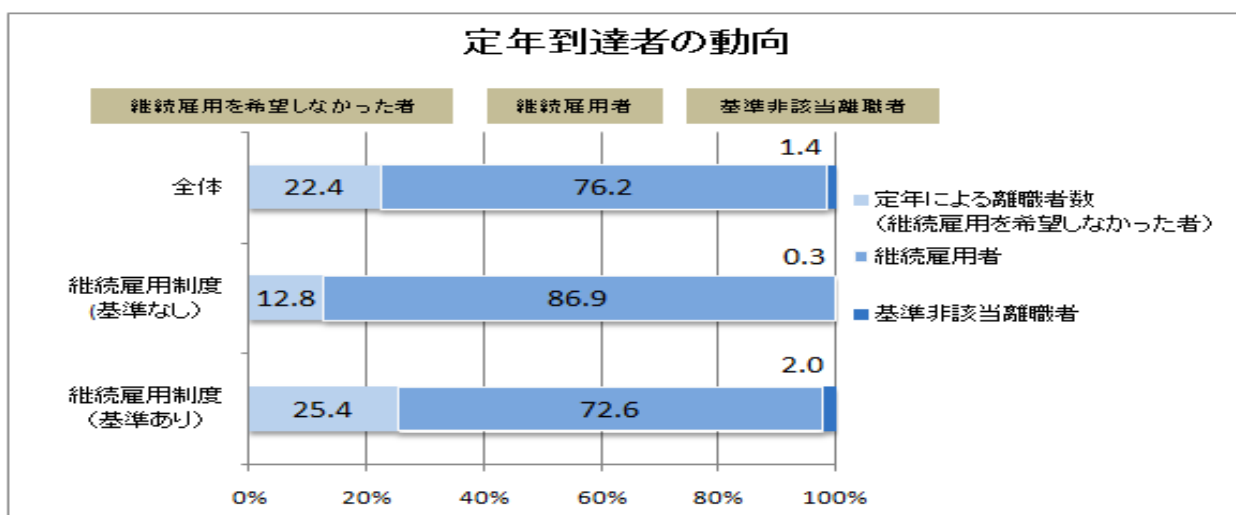
企業規模別に見ると、中小企業では20.0%（635社）（同0.5ポイントの低下）、大企業では11.0%（36社）（同2.5ポイントの上昇）となっている。【別表6】



3 定年到達者の動向

過去1年間（平成23年6月1日から平成24年5月31日）の定年到達者（10,306人）のうち、継続雇用を希望しなかった者の数（割合）は2,304人（22.4%）、定年後に継続雇用された者は7,857人（76.2%）、継続雇用を希望したが基準に該当しないこと等により離職した者は145人（1.4%）、継続雇用を希望した者について見ると、継続雇用された者の割合は98.2%、基準に該当しないこと等により離職した者の割合は1.8%となっている。

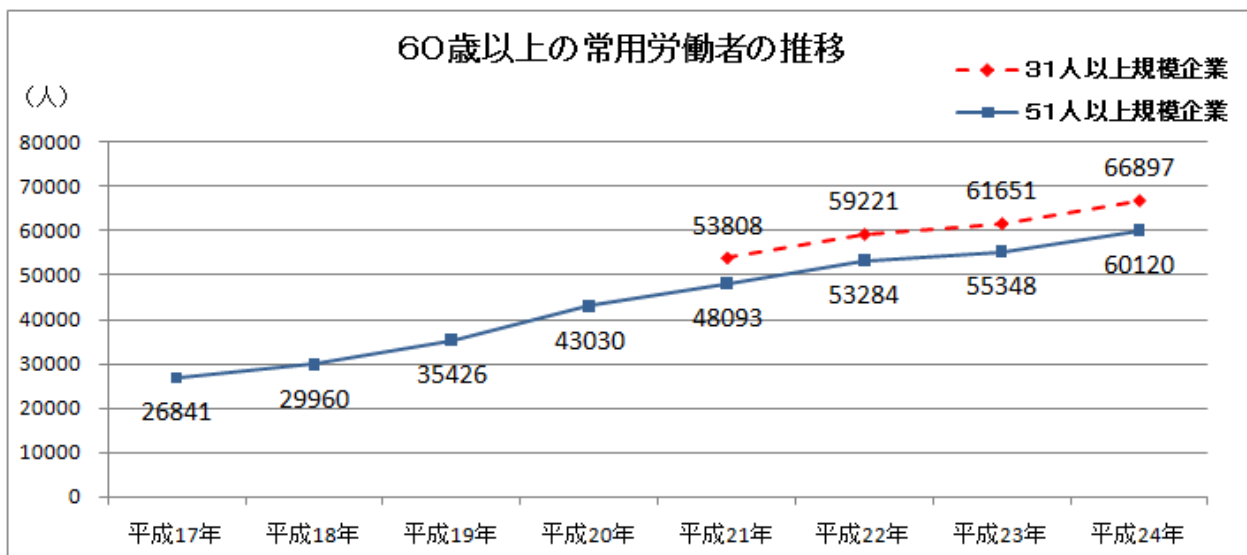
また、継続雇用制度により雇用確保措置を講じている企業のうち、①継続雇用の対象者を限定する基準を定めていない企業では、過去1年間の定年到達者2,777人のうち、継続雇用された者の数（割合）は2,413人（86.9%）、②継続雇用の対象者を限定する基準を定めている企業では、過去1年間の定年到達者6,333人のうち、継続雇用された者の数（割合）は4,598人（72.6%）、継続雇用を希望したが基準に該当しないことにより離職した者は127人（2.0%）となっている。【別表7】



4 雇用確保措置の義務化後の高年齢労働者の動向

51人以上規模企業における60歳以上の常用労働者数は60,120人であり、雇用確保措置の義務化前（平成17年）と比較すると33,279人増加している。

31人以上規模企業における60歳以上の常用労働者数は66,897人であり、平成21年と比較すると、13,089人増加している。【別表8】



5 今後の取組

(1) 雇用確保措置の定着に向けた取組

雇用確保措置が未実施である企業が112社（31人以上規模企業）あることから、引き続き、各ハローワークによる個別指導を強力に実施し、早期解消を図る。

(2) 改正高年齢者雇用安定法の施行に向けた取組

平成25年4月1日から改正高年齢者雇用安定法が施行されるため、周知の徹底を図るとともに、希望者全員が65歳以上まで働ける制度の導入に取り組んでもらうよう、企業に積極的に働きかける。

(3) 「70歳まで働ける企業」の普及・啓発

少子・高齢化の進行、将来の労働力人口の減少、団塊世代の65歳への到達等を踏まえ、年齢にかかわらず働ける社会の実現に向け、65歳までの雇用確保を基盤として「70歳まで働ける企業」の普及・啓発に取り組む。

表1 雇用確保措置の実施状況

(社、%)

	①実施済み		②未実施		①+②合計	
31～300人	3,074	(3,004)	108	(94)	3,182	(3,098)
	96.6%	(97.0%)	3.4%	(3.0%)	100.0%	(100.0%)
31～50人	1,150	(1,096)	65	(52)	1,215	(1,148)
	94.7%	(95.5%)	5.3%	(4.5%)	100.0%	(100.0%)
51～300人	1,924	(1,908)	43	(42)	1,967	(1,950)
	97.8%	(97.8%)	2.2%	(2.2%)	100.0%	(100.0%)
301人以上	322	(316)	4	(3)	326	(319)
	98.8%	(99.1%)	1.2%	(0.9%)	100.0%	(100.0%)
31人以上 総計	3,396	(3,320)	112	(97)	3,508	(3,417)
	96.8%	(97.2%)	3.2%	(2.8%)	100.0%	(100.0%)
51人以上 総計	2,246	(2,224)	47	(45)	2,293	(2,269)
	98.0%	(98.0%)	2.0%	(2.0%)	100.0%	(100.0%)

※()内は、平成23年6月1日現在の数値。

表2 規模別・産業別実施状況

(%)

		①実施済企業割合		②未実施企業割合					
規模別	31～50人	94.7%	(95.5%)	5.3%	(4.5%)				
	51～100人	97.3%	(97.2%)	2.7%	(2.8%)				
	101～300人	98.5%	(98.8%)	1.5%	(1.2%)				
	301～500人	98.3%	(99.4%)	1.7%	(0.6%)				
	501～1,000人	98.9%	(97.9%)	1.1%	(2.1%)				
	1,001人以上	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)				
	合計	96.8%	(97.2%)	3.2%	(2.8%)				
産業別		31人以上	51人以上	31人以上	51人以上				
	農、林、漁業	95.7%	(95.5%)	100.0%	(100.0%)	4.3%	(4.5%)	0.0%	(0.0%)
	鉱業、採石業、砂利採取業	75.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	25.0%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)
	建設業	97.6%	(95.7%)	98.8%	(97.6%)	2.4%	(4.3%)	1.2%	(2.4%)
	製造業	98.3%	(98.1%)	98.8%	(98.8%)	1.7%	(1.9%)	1.2%	(1.2%)
	電気・ガス・熱供給・水道業	92.3%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	7.7%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)
	情報通信業	95.7%	(98.5%)	100.0%	(100.0%)	4.3%	(1.5%)	0.0%	(0.0%)
	運輸、郵便業	96.9%	(97.7%)	97.8%	(97.4%)	3.1%	(2.3%)	2.2%	(2.6%)
	卸売業、小売業	96.1%	(95.5%)	97.6%	(97.8%)	3.9%	(4.5%)	2.4%	(2.2%)
	金融業、保険業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)
	不動産業、物品賃貸業	95.5%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	4.5%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)
	学術研究、専門・技術サービス業	98.9%	(97.9%)	100.0%	(96.5%)	1.1%	(2.1%)	0.0%	(3.5%)
	宿泊業、飲食サービス業	90.9%	(91.9%)	92.2%	(94.1%)	9.1%	(8.1%)	7.8%	(5.9%)
	生活関連サービス業、娯楽業	95.1%	(95.9%)	96.9%	(98.6%)	4.9%	(4.1%)	3.1%	(1.4%)
	教育、学習支援業	93.4%	(91.8%)	96.4%	(96.4%)	6.6%	(8.2%)	3.6%	(3.6%)
	医療、福祉	96.5%	(98.7%)	98.0%	(98.8%)	3.5%	(1.3%)	2.0%	(1.2%)
	複合サービス事業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)
サービス業(他に分類されないもの)	96.3%	(96.2%)	96.2%	(95.8%)	3.7%	(3.8%)	3.8%	(4.2%)	
その他	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)	
合計	96.8%	(97.2%)	98.0%	(98.0%)	3.2%	(2.8%)	2.0%	(2.0%)	

※()内は、平成23年6月1日現在の数値。

表3 雇用確保措置実施企業における上限年齢の内訳

(社、%)

	①65歳以上 (含定年制なし)	②64歳	①+②合計
31～300人	2,794 (2,698)	280 (306)	3,074 (3,004)
	90.9% (89.8%)	9.1% (10.2%)	100.0% (100.0%)
31～50人	1,063 (1,004)	87 (92)	1,150 (1,096)
	92.4% (91.6%)	7.6% (8.4%)	100.0% (100.0%)
51～300人	1,731 (1,694)	193 (214)	1,924 (1,908)
	90.0% (88.8%)	10.0% (11.2%)	100.0% (100.0%)
301人以上	275 (261)	47 (55)	322 (316)
	85.4% (82.6%)	14.6% (17.4%)	100.0% (100.0%)
31人以上総計	3,069 (2,959)	327 (361)	3,396 (3,320)
	90.4% (89.1%)	9.6% (10.9%)	100.0% (100.0%)
51人以上総計	2,006 (1,955)	240 (269)	2,246 (2,224)
	89.3% (87.9%)	10.7% (12.1%)	100.0% (100.0%)

※()内は、平成23年6月1日現在の数値。

「①+②合計」は表1の「①実施済み」に対応している。

表4-1 雇用確保措置実施企業における措置内容の内訳

(社、%)

	①定年制なし	②定年の引上げ	③継続雇用制度の導入	①+②+③合計
31～300人	98 (114)	576 (565)	2,400 (2,325)	3,074 (3,004)
	3.2% (3.8%)	18.7% (18.8%)	78.1% (77.4%)	100.0% (100.0%)
31～50人	50 (58)	268 (246)	832 (792)	1,150 (1,096)
	4.4% (5.3%)	23.3% (22.4%)	72.3% (72.3%)	100.0% (100.0%)
51～300人	48 (56)	308 (319)	1,568 (1,533)	1,924 (1,908)
	2.5% (2.9%)	16.0% (16.7%)	81.5% (80.3%)	100.0% (100.0%)
301人以上	1 (0)	20 (18)	301 (298)	322 (316)
	0.3% (0.0%)	6.2% (5.7%)	93.5% (94.3%)	100.0% (100.0%)
31人以上総計	99 (114)	596 (583)	2,701 (2,623)	3,396 (3,320)
	2.9% (3.4%)	17.6% (17.6%)	79.5% (79.0%)	100.0% (100.0%)
51人以上総計	49 (56)	328 (337)	1,869 (1,831)	2,246 (2,224)
	2.2% (2.5%)	14.6% (15.2%)	83.2% (82.3%)	100.0% (100.0%)

※()内は、平成23年6月1日現在の数値。

「①+②+③合計」は表1の「①実施済み」に対応している。

「②定年の引上げ」は64歳以上の定年の定めを設けている企業、「③継続雇用制度の導入」は定年年齢は64歳未満だが継続雇用制度の年齢を64歳以上としている企業を、それぞれ計上している。

表4-2 継続雇用制度の内訳

(社、%)

	①基準なし	②基準あり	①+②合計
31～300人	1,174 (1,148)	1,226 (1,177)	2,400 (2,325)
	48.9% (49.4%)	51.1% (50.6%)	100.0% (100.0%)
31～50人	468 (432)	364 (360)	832 (792)
	56.3% (54.5%)	43.7% (45.5%)	100.0% (100.0%)
51～300人	706 (716)	862 (817)	1,568 (1,533)
	45.0% (46.7%)	55.0% (53.3%)	100.0% (100.0%)
301人以上	64 (59)	237 (239)	301 (298)
	21.3% (19.8%)	78.7% (80.2%)	100.0% (100.0%)
31人以上総計	1,238 (1,207)	1,463 (1,416)	2,701 (2,623)
	45.8% (46.0%)	54.2% (54.0%)	100.0% (100.0%)
51人以上総計	770 (775)	1,099 (1,056)	1,869 (1,831)
	41.2% (42.3%)	58.8% (57.7%)	100.0% (100.0%)

※()内は、平成23年6月1日現在の数値。

「①+②合計」は表4-1の「③継続雇用制度の導入」に対応している。

表5 希望者全員が65歳以上まで働ける企業の状況

(社、%)

	③			合計 (①+②+③)	報告した全ての企業
	① 定年制なし	② 65歳以上定年	65歳以上までの 継続雇用制度 (基準なし)		
31~300人	98 (114)	541 (531)	1,121 (1,086)	1,760 (1,731)	3,182 (3,098)
	3.1% (3.7%)	17.0% (17.1%)	35.2% (35.1%)	55.3% (55.9%)	100.0% (100.0%)
31~50人	50 (58)	257 (237)	446 (407)	753 (702)	1,215 (1,148)
	4.1% (5.1%)	21.2% (20.6%)	36.7% (35.5%)	62.0% (61.1%)	100.0% (100.0%)
51~300人	48 (56)	284 (294)	675 (679)	1,007 (1,029)	1,967 (1,950)
	2.4% (2.9%)	14.4% (15.1%)	34.3% (34.8%)	51.2% (52.8%)	100.0% (100.0%)
301人以上	1 (0)	20 (18)	58 (54)	79 (72)	326 (319)
	0.3% (0.0%)	6.1% (5.6%)	17.8% (16.9%)	24.2% (22.6%)	100.0% (100.0%)
31人以上 総計	99 (114)	561 (549)	1,179 (1,140)	1,839 (1,803)	3,508 (3,417)
	2.8% (3.3%)	16.0% (16.1%)	33.6% (33.4%)	52.4% (52.8%)	100.0% (100.0%)
51人以上 総計	49 (56)	304 (312)	733 (733)	1,086 (1,101)	2,293 (2,269)
	2.1% (2.5%)	13.3% (13.8%)	32.0% (32.3%)	47.4% (48.5%)	100.0% (100.0%)

※()内は、平成23年6月1日現在の数値。

「希望者全員が65歳以上まで働ける企業」は「定年制なし」、「65歳以上定年」及び「希望者全員65歳以上継続雇用」の合計である。

「報告した全ての企業」は表1の「①+②合計」に対応している。

表6 「70歳以上まで働ける企業」の状況

(社、%)

	① 定年制なし	② 70歳以上定年	③70歳以上までの継続雇用制度		④ その他の制度で70 歳以上まで雇用	合計 (①+②+③+④)	報告した全ての 企業
			基準なし	基準あり			
31~300人	98 (114)	57 (56)	118 (116)	224 (224)	138 (126)	635 (636)	3,182 (3,098)
	3.1% (3.7%)	1.8% (1.8%)	3.7% (3.7%)	7.0% (7.2%)	4.3% (4.1%)	20.0% (20.5%)	100.0% (100.0%)
31~50人	50 (58)	33 (36)	51 (43)	71 (67)	54 (44)	259 (248)	1,215 (1,148)
	4.1% (5.1%)	2.7% (3.1%)	4.2% (3.7%)	5.8% (5.8%)	4.4% (3.8%)	21.3% (21.6%)	100.0% (100.0%)
51~300人	48 (56)	24 (20)	67 (73)	153 (157)	84 (82)	376 (388)	1,967 (1,950)
	2.4% (2.9%)	1.2% (1.0%)	3.4% (3.7%)	7.8% (8.1%)	4.3% (4.2%)	19.1% (19.9%)	100.0% (100.0%)
301人以上	1 (0)	0 (0)	5 (4)	17 (12)	13 (11)	36 (27)	326 (319)
	0.3% (0.0%)	0.0% (0.0%)	1.5% (1.3%)	5.2% (3.8%)	4.0% (3.4%)	11.0% (8.5%)	100.0% (100.0%)
31人以上 総計	99 (114)	57 (56)	123 (120)	241 (236)	151 (137)	671 (663)	3,508 (3,417)
	2.8% (3.3%)	1.6% (1.6%)	3.5% (3.5%)	6.9% (6.9%)	4.3% (4.0%)	19.1% (19.4%)	100.0% (100.0%)
51人以上 総計	49 (56)	24 (20)	72 (77)	170 (169)	97 (93)	412 (415)	2,293 (2,269)
	2.1% (2.5%)	1.0% (0.9%)	3.1% (3.4%)	7.4% (7.4%)	4.2% (4.1%)	18.0% (18.3%)	100.0% (100.0%)

※()内は、平成23年6月1日現在の数値。

「70歳以上まで働ける企業」は「定年制なし」、「70歳以上定年」、「70歳以上までの継続雇用制度」及び「その他の制度で70歳以上まで雇用」の合計である。

「その他の制度で70歳以上まで雇用」とは、希望者全員や基準該当者を70歳以上まで継続雇用する制度は導入していないが、企業の実情に応じて何らかの仕組みで70歳以上まで働くことができる制度を導入している場合を指す。

「報告した全ての企業」は表1の「①+②合計」に対応している。

表7 定年到達者等の状況

	企業数 (社)	定年到達者総 数 (人)	定年による離職者数 (継続雇用を希望しなかつた 者)		継続雇用を希望した者	継続雇用者		継続雇用を希望したが 基準に該当しなかつたこと等 による離職者		継続雇用 の終了によ る離職者 数 (人)	
① 31人以上規模企業合計	3,508	10,306	2,304	22.4% (21.7%)	8,002	77.6% (78.3%)	7,857	76.2% (77.0%)	145	1.4% (1.2%)	2,492
						100.0% (100.0%)		98.2% (98.4%)		1.8% (1.6%)	
② 継続雇用制度(基準なし)により 確保措置を講じている企業	1,238	2,777	355	12.8% (13.5%)	2,422	87.2% (86.5%)	2,413	86.9% (86.3%)	9	0.3% (0.2%)	467
						100.0% (100.0%)		99.6% (99.8%)		0.4% (0.2%)	
③ 継続雇用制度(基準あり)により 確保措置を講じている企業	1,463	6,333	1,608	25.4% (26.7%)	4,725	74.6% (73.3%)	4,598	72.6% (71.5%)	127	2.0% (1.9%)	1,885
						100.0% (100.0%)		97.3% (97.5%)		2.7% (2.5%)	

※過去1年間(平成23年6月1日から平成24年5月31日)に定年退職に到達した者について集計している。

()内は、平成23年6月1日現在の数値。

「継続雇用者」、「継続雇用を希望したが基準に該当しなかつたことによる離職者」の下段の割合は、「継続雇用を希望した者」に対する割合。

「継続雇用の終了による離職者数」は継続雇用制度における上限年齢に到達したことによる離職者の数。

表8 年齢別常用労働者数

		年齢計		60歳以上合計		60～64歳		65歳以上	
51人以上 規模企業	平成17年	450,124人	(100.0)	26,841人	(100.0)	19,821人	(100.0)	7,020人	(100.0)
	平成18年	471,653人	(104.8)	29,960人	(111.6)	21,642人	(109.2)	8,318人	(118.5)
	平成19年	489,642人	(108.8)	35,426人	(132.0)	25,709人	(129.7)	9,717人	(138.4)
	平成20年	502,915人	(111.7)	43,030人	(160.3)	31,439人	(158.6)	11,591人	(165.1)
	平成21年	504,856人	(112.2)	48,093人	(179.2)	35,192人	(177.5)	12,901人	(183.8)
	平成22年	519,593人	(115.4)	53,284人	(198.5)	38,662人	(195.1)	14,622人	(208.3)
	平成23年	517,024人	(114.9)	55,348人	(206.2)	41,430人	(209.0)	13,918人	(198.3)
	平成24年	536,793人	(119.3)	60,120人	(224.0)	44,195人	(223.0)	15,925人	(226.9)
31人以上 規模企業	平成21年	550,736人	(100.0)	53,808人	(100.0)	39,119人	(100.0)	14,689人	(100.0)
	平成22年	564,913人	(102.6)	59,221人	(110.1)	42,811人	(109.4)	16,410人	(111.7)
	平成23年	562,482人	(102.1)	61,651人	(114.6)	45,818人	(117.1)	15,833人	(107.8)
	平成24年	584,783人	(106.2)	66,897人	(124.3)	48,770人	(124.7)	18,127人	(123.4)

※()内は平成17年を100とした場合の比率(31人以上は平成21年を100とした場合の比率)